



2026年2月10日

各 位

会 社 名 東京汽船株式会社  
代表者名 代表取締役 社長執行役員 齊藤 宏之  
(コード：9193 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役 執行役員総務部長 巻島 康日  
(TEL 045-671-7713)

### 連結子会社・東京湾フェリー株式会社での水素燃料併用型新造カーフェリーの投入

当社の連結子会社である東京湾フェリー株式会社（神奈川県横須賀市、代表取締役社長 齊藤宏之、<https://www.tokyowanferry.com>）は、神奈川県横須賀市久里浜～千葉県富津市金谷の航路でカーフェリーを運航していますが、この度、ジャパンハイドロ株式会社（広島県福山市、代表取締役社長 神原満夫、<https://jpnh2ydro.com>）から新造の水素燃料併用型カーフェリー（水素専焼発電機関+A 重油専焼発電機関）を裸用船することとなりました。就航は2027年11月を予定しています。同船は既存のカーフェリー「かなや丸」（1992年就航）のりプレース船となります。

当社グループは、環境負荷低減型船舶の導入を方針としており、水素専焼発電機関を使用する当新造カーフェリーの運航で、脱炭素化に貢献いたします。

当新造カーフェリーは、日本財団ゼロエミッション船プロジェクトの一環としてジャパンハイドロ株式会社が発注・所有し、常石造船株式会社にて建造されますが、東京湾フェリーの仕様も考慮して設計されます。

#### 1. 投入予定カーフェリーの概要

船体寸法：全長約 84.1m、幅約 18.5m 、深さ約 5.8m、計画喫水約 3.4m

総トン数：約 3,580 トン

航海速力：12 ノット

旅客定員：約 680 名

積載台数：トラック 約 16 台 / 乗用車 約 46 台（乗用車のみ積載の場合は約 100 台）

発電機関：

##### ①水素専焼発電機関

種類：水素専焼機関

製造者：Anglo Belgian Corporation / BeHydro

基数：3 基

## ②A 重油専焼発電機関

種類：ディーゼル機関

製造者：ダイハツインフィニアース

基数：3基

建造造船所：常石造船株式会社（広島県福山市、代表取締役社長執行役員 奥村幸生

<https://www.tsuneishi.co.jp/>)

特徴：

- ①世界初の船舶向け水素専焼発電機関による電気推進システムを採用し、ゼロエミッション運航が可能
- ②ディーゼル発電機も併せて搭載している為、A重油による運航も可能
- ③前後いずれにも航行可能で出入港時に方向転換が不要な両頭型の採用と操船性の高いフォイトシュナイダープロペラの装備により安全な運航が可能
- ④ 船内エレベータを備える等、バリアフリー化に配慮
- ⑤十分な上部車両甲板の高さ確保と船内ランプの装備により背高のミニバンが搭載可能

## 2. ジャパンハイドロ株式会社について

ジャパンハイドロ株式会社は、常石グループのツネイシクラフト&ファシリティーズ株式会社及び神原汽船株式会社と、優れた水素エンジンテクノロジーを有する総合海運企業CMB.TECHグループ（ベルギー）の合弁会社で、水素エンジンを中心した各種製品の国内承認取得、販売、その他水素関連の事業開発、船舶保有・管理を行っています。

以上